



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年6月18日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## 福島第1原発事故

### ふるさとの価値 問い続け

18日(日)=1、3面

迫る



2011年3月に発生した東京電力福島第1原発事故によって、福島県内で暮らしていた多くの住民が避難生活を強いられました。大阪公立大教授の除本理史さん＝写真＝は、現地で住民からの聞き取り調査を続けました。

研究テーマは公害の実態と賠償、そして地域の回復。福島を100回以上訪れ住民の声に触れたことで、疑問が離れなくなりました。それ

は「ふるさとの価値とは何か」。一方、国が11年8月に示した損害賠償の基準としての中間指針には「ふるさとの喪失」に相当する部分はありませんでした。

除本さんは裁判所が「ふるさとの喪失」を認めるよう意見書を書き続けました。裁判所はその考えを認めたのでしょうか。除本さんの活動、そして公害問題に取り組むようになった原点に迫ります。

## 生誕120年 映画監督・小津安二郎の魅力

18日(日)  
=5面



今年映画監督、小津安二郎の生誕120年、没後60年にあたります。戦後の日本映画黄金期に「東京物語」「秋刀魚の味」など数々の名

作を残し、国内外の監督に多大な影響を与えました。節目の年を迎え、世界各地で回顧上映も企画されています。世紀を超え国境を越

えて愛され続ける小津監督の魅力はどこにあるのでしょうか。彼の人生を振り返り、映画に込めた思いなどを探ります。



教えて！  
NISA

## 新制度 賢い活用方法は

一定金額まで株式や投資信託などに投資した場合、得られた利益が非課税となる「NISA（ニーサ）」制度。現行のNISAは今年いっぱい終了し、2024年から制度が大きく変わります。

より利用しやすくなるため、いま注目を集めています。NISAをうまく活用するにはどうすれば良いのか。りそな銀行の担当者が賢い活用方法を解説します。

20日(火) 総合面

特集 **ワイド**

## 「はだしのゲン」読み継がれる理由

20日(火) = 夕刊特集ワイド



原爆が投下された広島を子どもの目線で描いた漫画「はだしのゲン」の連載開始から、6月で50周年を迎えました。広島市教育委員会が2月、平和教材として使うことを取りやめると決めまし

が、直後に文庫本の売り上げが急増。読み継がれている理由はどこにあるのでしょうか。作者の中沢啓治さん（1939～2012年）の妻で、アシスタントも務めた妻ミサヨさん＝写真＝らに聞きました。

## 竹橋の窓から

編集後記



難関大学の合格者を高専別にランキングする「サンデー毎日」が、進学校の勢力図にどんな変化があったのかと、予備校などの専門家とともに23年の大学入試を振り返り、24年を展望するオンラインイベントを23日開催します。名物特集はどのよう



毎日新聞

(斎藤有香)